

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |              |
|-------|--------------|
| 施設番号  | 66-0590      |
| 施設名   | 昭島ゆりかご第二保育園  |
| 施設所在地 | 昭島市田中町3-5-20 |
| 法人名   | 社会福祉法人ゆりかご会  |

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

身近なものに対しての同じ動作でも、聞こえる音が様々あるということに気付く。

### 2. 活動スケジュール

- ・5月 新聞紙
- ・8月 画用紙、ビニール袋
- ・2月 アルミホイル

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

#### 【準備した素材】

- ・新聞紙
- ・画用紙
- ・ビニール袋
- ・アルミホイル

#### 【環境設定】

- ・音に耳を傾けて聞くことができるような環境を設定する。
- ・子どもたちが分かりやすい、身近な素材をいくつか準備しておく。
- ・子どもたち一人ひとりが触れながら活動できるように、素材の数を準備しておく。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

・身近な素材を何種類か準備し、切る、破く、擦る、揺らす、丸めるなどの動作をすることによって、どのような音がするのかを感じたり、音の違いに気づいたりすることが出来るように活動した。  
また、子どもたち自身でも実際に触ってみたりしながら、五感を多く使って感じる事が出来るように取り組んでいった。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・保育者と子どもたちで、様々な素材を切ったり、丸めたり、擦ってみたりして「どんな音がしたかな？」と聞いてみると、切るという同じ動作でも、新聞紙や画用紙では「チョキチョキ」と言う姿と、ビニール袋では音がしないと言う姿がみられた。また、丸めるという同じ動作でもアルミホイルでは「シュワシュワ」と答えたり、新聞紙では「くしゃくしゃ」と答えるなど、素材によって違った音の感じ方を声に出して伝えていた。  
・新聞紙と画用紙の音は同じではないが、似ているということに気づいていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

・同じ素材で同じ動作の音を聞いても、音の感じ方や表現の仕方は子どもたち一人ひとりによって違うということに気が付くことができた。また、身近で分かりやすい素材を使うことによって興味関心が広がり、子どもたちからもやってみたいという素材や動作の提案をすることができていた。